



水戸藩開藩四百年記念  
桜田門外ノ変  
映画化支援

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

地域ごとの歴史講演会（全6回）

「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩領内～

第2回

# 幕末の動乱と那珂

～「桜田門外の変」と那珂地方～

講師：仲田 昭一 氏

（那珂市歴史民俗資料館館長・元県立学校校長）

日時：平成20年11月29日（土） 9時30分～11時30分

場所：那珂市総合センター らぽーる 視聴覚室（定員60名）

参加費：無料

申込み：FAX 又は E-mail にてお申し込み下さい（電話でも受付いたします）

主催・問い合わせ先

水戸藩開藩四百年記念 『桜田門外ノ変』映画化支援の会

ホームページ：<http://www.mitoppo.jp>

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎

TEL/FAX:029-303-0310 E-mail: info@mitoppo.jp

# 水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

地域ごとの歴史講演会（全6回）

## 「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩領内～

### 第2回 「幕末の動乱と那珂」 ～「桜田門外ノ変」と那珂地方～

#### < 内容 >

那珂市内には、この事件に直接参画した人物が2名います。静神社の神官斎藤監物と三島神社の神官海後礎磯之介です。その前触れとなった「弘化甲辰の変（斉昭が幕府の処分を受ける）」や、井伊直弼による「安政の大獄」では、藩内から多くの領民が雪冤（せつえん／無実の罪であることを明らかにすること）運動に奔走しました。その中には、斎藤はじめ菅谷村の横須賀勘兵衛や田崎村の阿久津藤左衛門のほか中里村や古徳村などの農民たちがいました。

なかた しょういち

#### < 講師：仲田 昭一 氏 >

1943年、那珂市（芳野村）生まれ。1962年茨城大学文学部卒業。同年より県立高校教諭。1987年より茨城県歴史館勤務（8年間）。1995年～県立高校教頭、2001年～同校長、2004年～那珂市歴史民俗資料館（2006年～現職）。水戸史学会理事。

著書に『水戸藩と領民』、『正・続海ゆかば』ほか、共著に『水戸義公伝記逸話集』、『藤田幽谷の研究』ほかがある。

■那珂市総合センター らぼーる  
那珂市古徳 371  
Tel 029-296-1651

#### 会場までのアクセス



#### 地域ごとの歴史講演会（全6回）

##### 「桜田門外ノ変」の時代 ～幕末の水戸藩領内～

##### 第1回 幕末の動乱と水戸

10月12日（水戸市男女文化センター びよんど）

##### 第2回 幕末の動乱と那珂

11月29日（那珂市総合センター らぼーる）

##### 第3回 幕末の動乱と鹿行

12月6日（潮来市中央公民館）

##### 第4回 幕末の動乱と日立

2月1日（日立市民会館）

##### 第5回 幕末の動乱と大子・常陸大宮

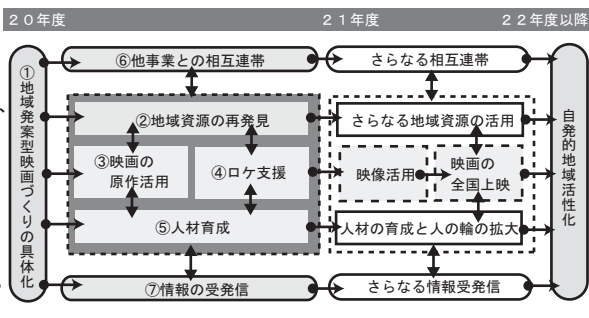
2月8日（常陸大宮市大宮公民館）

##### 第6回 幕末の動乱と常陸太田

2月22日（常陸太田市水府総合センター）

#### 『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりへの支援活動と、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動（講演会や史跡めぐり、交流事業ほか）に是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「機運」を醸成していきましょう。



## 参加申込書

11月29日（土）

講座名 < 地域ごとの歴史講演会  
第2回 「幕末の動乱と那珂」 ～「桜田門外ノ変」と那珂地方～ >

所属

氏名

電話

Fax

Eメール

お申し込み Fax 029-303-0310（電話兼用）

※いただいた個人情報は適切に管理いたします。  
※事務局からイベント等のご案内をさせていただくことがあります。



外ノ桜田門  
映画化支援  
水戸藩開藩四百年記念